

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第6683311号
(P6683311)

(45) 発行日 令和2年4月15日(2020.4.15)

(24) 登録日 令和2年3月30日(2020.3.30)

(51) Int. Cl.			F I		
A 4 1 B	9/04	(2006.01)	A 4 1 B	9/04	C
A 4 1 B	9/12	(2006.01)	A 4 1 B	9/12	Z
A 4 1 C	1/00	(2006.01)	A 4 1 C	1/00	Z

請求項の数 4 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2020-3455 (P2020-3455)
(22) 出願日	令和2年1月14日(2020.1.14)
審査請求日	令和2年2月20日(2020.2.20)

(73) 特許権者	516372907 合同会社アウトワールド 大阪府箕面市萱野2丁目3番12号
(74) 代理人	100143096 弁理士 山岸 忠義
(72) 発明者	中村 良和 奈良県奈良市三条大路4-6-8
(72) 発明者	木原 忠臣 大阪府大阪市北区紅梅町1-18エルゴ6 03
審査官	姫島 卓弥

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ショーツ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウエスト部、前身頃、後身頃および股部を有する外側部材と、
前記外側部材の内側に配置される内側部材と
を備え、

前記外側部材において、鼠蹊部を締め付けないように足ぐりが形成されており、
前記内側部材は、

臀部に密着可能な後側密着部と、
下腹部の幅方向両端部に密着可能な一対の前側密着部と、
股間に密着可能な下側密着部と

を備え、

前記後側密着部および一対の前側密着部は、前記ウエスト部に固定され、
前記下側密着部は、前記前身頃に固定されていることを特徴とするショーツ。

【請求項 2】

前記内側部材の前後方向長さは、前記内側部材が固定されている箇所に対応する前記外側部材の前後方向長さよりも短いことを特徴とする請求項 1 に記載のショーツ。

【請求項 3】

前記下側密着部の幅は、前記股部の幅よりも狭く、
前記後側密着部の丈は、前記後身頃の丈よりも短いことを特徴とする請求項 1 または 2
に記載のショーツ。

【請求項 4】

前記下側密着部の内面に、防水布が配置されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のショーツ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ショーツに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来より、生理用ナプキンなどの吸収性物品をショーツに固定できる生理用ショーツが知られている。例えば、特許文献 1 には、ショーツ本体の内部に吸収性物品保持用の保持体を有し、クロッチ部の中間部において当該保持体がショーツ本体に固定されずに自由状態となるショーツが開示されている。このようなショーツでは、保持体が十分に伸長できるため、体へのフィット性が良くなり、液漏れを抑制することができる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2003 - 183902 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

ところで、近年、鼠蹊部の締め付けを緩和することにより、開放感などのはき心地の良いショーツが提案されている。この締め付けないショーツは、足ぐり（足回り開口）が、通常のショーツより広くなっており、全体的にゆったりとした設計になっている。そして、このようなショーツにおいても、生理用ショーツなどのニーズがある。

【0005】

しかしながら、このようなショーツに、特許文献 1 に記載の吸収性物品保持帯を付けると、装着時において、吸収性物品保持帯が幅方向（左右）にずれたり、臀裂に入りこんでしまい、その結果、経血などの排泄液が漏れるという不具合が生じる。

【0006】

本発明は、はき心地が良く、排泄液の漏れを抑制することができるショーツを提供する。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明 [1] は、ウエスト部、前身頃、後身頃および股部を有する外側部材と、前記外側部材の内側に配置される内側部材とを備え、前記外側部材において、鼠蹊部を締め付けないように足ぐりが形成されており、前記内側部材は、臀部に密着可能な後側密着部と、下腹部の幅方向両端部に密着可能な一対の前側密着部と、股間に密着可能な下側密着部とを備え、前記後側密着部および一対の前側密着部は、前記ウエスト部に固定され、前記下側密着部は、前記前身頃に固定されているショーツを含む。

【0008】

このような発明によれば、外側部材では鼠蹊部を締め付けないように足ぐりが形成されているため、鼠蹊部の圧迫を抑制して、開放感などのはき心地を良くすることができる。

【0009】

また、内側部材において、後側密着部および一対の前側密着部がウエスト部に固定されているため、内側部材は、広い面積で腰回りに接触でき、かつ、ウエスト部で十分に固定されている。よって、装着時における後側密着部の横ずれや臀裂への入り込みを抑制することができる。また、下側密着部は、前身頃と固定しているため、装着後の運動時にショ

10

20

30

40

50

ーツに加わる力を、広面積の伸縮性の前身頃で分散や緩衝させることができ、下側密着部の動きやずれを抑制することができる。これらによって、装着時において、生理、おりもの、尿などの排泄液の漏れを抑制することができる。

【0010】

本発明[2]は、前記内側部材の前後方向長さは、前記内側部材が固定されている箇所に対応する前記外側部材の前後方向長さよりも短い[1]に記載のショーツを含む。

【0011】

このような発明によれば、内側部材の長さが、その固定部間に対応する外側部材の距離よりも短いので、内側部材が外側部材と離間する。そのため、装着時に、内側部材が外側部材に向かって伸長できるため、密着性が良好になる。また、外側部材までの距離があるため、装着時における外側部材の圧迫を抑制し、外側部材における大幅な外形変化を抑制することができる。

【0012】

本発明[3]は、前記下側密着部の幅は、前記股部の幅よりも狭く、前記後側密着部の丈は、前記後身頃の丈よりも短い[1]または[2]に記載のショーツを含む。

【0013】

このような発明によれば、下側密着部の幅が前記股部の幅よりも狭いため、ウイング付きの吸収性物品を下側密着部に装着した際に、ウイングが股部によって隠れる。また、さらに後側密着部の丈が後身頃の丈よりも短いため、装着時において、内側部材が後身頃および股部によって隠れる。すなわち、排泄液漏れに関係する部材(吸収性物品や内側部材)を隠すことができる。さらに、ショーツの外形デザイン性の自由度を担保することができる。

【0014】

本発明[4]は、前記下側密着部の内側に、防水布が配置されている[1]~[3]のいずれか一項に記載のショーツを含む。

【0015】

このような発明によれば、防水布が配置されているため、排泄液が吸収性物品から漏れ出た場合において防水布で受け止めることができる。よって、下側密着部や股部などへの染み込みを抑制し、外側部材やアウター(ズボンなど)の汚れを軽減させることができる。

【発明の効果】

【0016】

本発明のショーツは、はき心地がよく、かつ、排泄液の漏れを抑制することができる。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図1】図1は、本発明のショーツの一実施形態である生理用ショーツ(非装着時)の正面図を示す。

【図2】図2は、図1に示す実施形態の背面図を示す。

【図3】図3は、図1に示す実施形態の平面図を示す。

【図4】図4は、図1に示す実施形態の側面図を示す。

【図5】図5は、図1に示す実施形態の展開図を示す。

【図6】図6は、本発明のショーツの変形例の正面図を示す。

【発明を実施するための形態】

【0018】

<一実施形態>

図1~図5を用いて、本発明の一実施形態である生理用ショーツを説明する。

【0019】

図1に示す生理用ショーツ1(以下、「ショーツ」と略することもある。)は、外側部材2と、その内側に配置される内側部材3とを備える。

【0020】

10

20

30

40

50

外側部材 2 は、ショーツ 1 の本体部分であり、ウエスト部 4、前身頃 5、後身頃 6、および、股部 7 を備える。

【 0 0 2 1 】

ウエスト部 4 は、装着時に腰回りを締め付けてショーツ 1 の脱落を防止する。ウエスト部 4 は、外側部材 2 の上端に位置し、ショーツ 1 の上端を一周するように配置されている。ウエスト部 4 は、伸縮性を有しており、ウエスト開口 8 を形成する。

【 0 0 2 2 】

ウエスト部 4 は、例えば、ゴム紐などの伸縮性部材から構成されている。ウエスト部 4 の伸縮性は、他の部材（具体的には、前身頃 5、股部 7 および後身頃 6、ならびに、内側部材 3）の伸縮性よりも高い。

【 0 0 2 3 】

前身頃 5 は、外側部材 2 の前側部分であり、人（女性）の下腹部を被覆する。前身頃 5 は、ウエスト部 4 の前側部分の下方に配置され、ウエスト部 4 の前側部分に固定されている。前身頃 5 において、その上端はウエスト部 4 の前側部分と連続し、その下端は股部 7 の前端と連続し、その幅方向両端は後身頃 6 の幅方向両端と連続する。前身頃 5 は、その上側部分が下側に向かうに従って幅方向に広くなり、その下側部分が鼠蹊部または前ももに沿うように下側に向かうに従って幅方向に狭くなるように形成されている。

【 0 0 2 4 】

後身頃 6 は、外側部材 2 の後側部分であり、人の臀部を被覆する。後身頃 6 は、ウエスト部 4 の後側部分の下方に配置され、ウエスト部 4 の後側部分に固定されている。後身頃 6 において、その上端はウエスト部 4 の後側部分と連続し、その下端は股部 7 の後端と連続し、その幅方向両端は前身頃 5 の幅方向両端と連続する。後身頃 6 は、その上側部分が下側に向かうに従って幅方向に広くなり、その下側部分が臀部または後ももに沿うように下側に向かうに従って幅方向に狭くなるように形成されている。

【 0 0 2 5 】

股部 7 は、外側部材 2 の下側部分であり、人の股間を被覆する。股部 7 は、前身頃 5 および後身頃 6 の前後方向中央に配置され、前身頃 5 と後身頃 6 とを連結する。股部 7 において、その前端は前身頃 5 の下端と連続し、その後端は後身頃 6 の下端と連続する。股部 7 は、前後方向に延びる略長形状を有しており、かつ、内ももに沿うように前後方向中央に向かうに従って幅が狭くなるように形成されている。

【 0 0 2 6 】

外側部材 2 では、前身頃 5、後身頃 6 および股部 7 によって、鼠蹊部を締め付けないように、足ぐり 9 が形成されている。すなわち、前身頃 5 の下端縁と股部 7 の幅方向両端縁と後身頃 6 の下端縁とが連続して一周しており、一对の開口を構成する。

【 0 0 2 7 】

足ぐり 9 の大きさは、推奨する普通体重（例えば、BMI が 18.5 以上 25 未満）の女性が着用した際に、足ぐり 9 が、体に接触する部位（足の付け根の周囲）と実質的に同じ大きさまたはそれよりも大きくなるように形成されている。換言すると、ショーツ 1 は、締め付けがある従来ショーツよりも、足ぐり 9 が大きくなるように形成されている。具体的には、M サイズ用（例えば推奨ヒップ周囲が 87 cm 以上 95 cm 以下）のショーツである場合、足ぐり 9 の周囲長さは、例えば、50 cm 以上、好ましくは、55 cm 以上であり、また、例えば、65 cm 以下、好ましくは、60 cm 以下である。

【 0 0 2 8 】

前身頃 5、後身頃 6 および股部 7 を構成する生地は、例えば、ポリウレタン繊維、ポリエステル繊維、ナイロン繊維、レーヨン繊維、アクリル繊維などの合成繊維、綿、絹、麻などの天然繊維、および、これらの混合繊維などから形成されている。好ましくは、伸縮性を有する生地から形成されており、具体的には、例えば、綿とポリウレタン繊維との混合繊維から形成されている。

【 0 0 2 9 】

後身頃 6 および股部 7 は、一枚の生地から形成され、一方、前身頃 5 は、別個の生地か

ら形成されている。外側部材 2 は、所望の生地から外形加工された後身頃 6 および股部 7 に、前身頃 5 およびウエスト部 4 をそれぞれ縫合（固定）することにより、作製される。後身頃 6 と股部 7 との境界には、縫合部が存在せず、前身頃 5 と股部 7 との境界、前身頃 5 と後身頃 6 との境界、および、ウエスト部 4 周囲には、それぞれ、縫合部 1 4 が存在する。すなわち、前身頃 5 と股部 7 との境界には第 1 縫合部 1 4 a が、前身頃 5 と後身頃 6 との境界には第 2 縫合部 1 4 b が、ウエスト部 4 の周囲には第 3 縫合部 1 4 c が形成されている。

【 0 0 3 0 】

内側部材 3 は、生理、おりものなどの排泄液に対処するための部材であり、外側部材 2 の内側において、外側部材 2 の内面に沿うように配置されている。内側部材 3 は、ウエスト部 4 の後側部分と前身頃 5 の下側部分とに連結されている。具体的には、内側部材 3 の前端は、前身頃 5 の下端と連続し、内側部材 3 の後端は、ウエスト部 4 の後側部分に連続する。

【 0 0 3 1 】

内側部材 3 は、後側密着部 1 0 と、一对の前側密着部 1 1 と、下側密着部 1 2 と、防水布 1 3 とを備える。

【 0 0 3 2 】

後側密着部 1 0 は、内側部材 3 の後側部分であり、装着時に、臀部（特に、上臀部の全面、および、下臀部の幅方向中央部）に密着（フィット）する。後側密着部 1 0 は、ウエスト部 4 の後側部分の下方および内側に配置され、ウエスト部 4 の後側部分に固定されている。後側密着部 1 0 において、その上端はウエスト部 4 の後側部分と連続し、その下端は下側密着部 1 2 の後端と連続し、その幅方向両端は前側密着部 1 1 の幅方向両端と連続する。後側密着部 1 0 は、後身頃 6 よりも小さくなるように形成されており、後側密着部 1 0 の丈（上下方向長さ）は、後身頃 6 の丈よりも短い。

【 0 0 3 3 】

一对の前側密着部 1 1 は、内側部材 3 の前側部分であり、装着時に、下腹部の幅方向両端部（特に、上前腸骨棘付近の部位）に密着する。一对の前側密着部 1 1 は、ウエスト部 4 の前側部分両端部の下方および内側に配置され、ウエスト部 4 の前側部分に固定されている。前側密着部 1 1 は、後側密着部 1 0 の幅方向両端に連続する。すなわち、一对の前側密着部 1 1 のうち、一方（左側）の前側密着部 1 1 は後側密着部 1 0 の一方端（左端）と連続し、他方（右側）の前側密着部 1 1 は後側密着部 1 0 の他方端（右端）と連続し、これらの前側密着部 1 1 の上端はウエスト部 4 の前側部分と連続する。一对の前側密着部 1 1 は、それぞれ、略三角形を有する。

【 0 0 3 4 】

下側密着部 1 2 は、内側部材 3 の下側部分であり、防水布 1 3 および吸収性物品（例えば、生理用ナプキン、おりものシート）を介して、股間に密着する。下側密着部 1 2 は、股部 7 の内側に配置され、第 1 縫合部 1 4 a にて、前身頃 5 に固定されている。下側密着部 1 2 において、その後端は後側密着部 1 0 の下端と連続し、その前端は前身頃 5 の下端と連続する。下側密着部 1 2 は、その前側部分が前後方向に直線状に伸びる略長方形を有し、その後側部分が緩やかに幅方向に広くなるように形成されている。下側密着部 1 2 は、股部 7 よりも小さくなるように形成されている。図 3 に示すように、下側密着部 1 2 の幅は、股部 7 の幅よりも狭い。第 1 縫合部 1 4 a の位置では、下側密着部 1 2 の幅 X 1 は、例えば、前身頃 5 の幅 Y 1 の 8 0 % 以下、好ましくは、7 0 % 以下であり、また、例えば、4 0 % 以上、好ましくは、5 0 % 以上である。また、ショーツ 1 の最下端（股部 7 の最幅狭部）の位置では、下側密着部 1 2 の幅 X 2 は、例えば、股部 7 の幅 Y 2 の 9 8 % 以下、好ましくは、9 5 % 以下であり、また、例えば、8 0 % 以上、好ましくは、9 0 % 以上である。これにより、下側密着部 1 2 に吸収性物品を確実に装着することができ、また、装着される吸収性物品を股部 7 で隠すことができる。

【 0 0 3 5 】

後側密着部 1 0、前側密着部 1 1 および下側密着部 1 2 は、伸縮性を有する生地から構

10

20

30

40

50

成されており、このような生地材料として、具体的には、前述の合成繊維、天然繊維およびこれらの混合繊維が挙げられる。好ましくは、後側密着部 10、前側密着部 11 および下側密着部 12 は、前身頃 5、後身頃 6 および股部 7 と同一の伸縮性生地から構成されており、具体的には、例えば、綿とポリウレタン繊維との混合繊維から形成されている。

【0036】

防水布 13 は、経血などの排泄液が外側部材 2 や内側部材 3 に付着することを抑制する。防水布 13 は、下側密着部 12 の内面に配置されている。具体的には、防水布 13 は、下側密着部 12 の内面全面に、防水布 13 が配置されているように、固定されている。防水布 13 の平面形状は、下側密着部 12 と略同一形状となるように形成されている。

【0037】

防水布 13 は、防水性を有する生地から構成されている。このような生地材料としては、例えば、ポリエチレン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維などの合成繊維が挙げられる。これにより、防水布 13 に経血などが付着した際に、容易に経血などを除去することができる。

【0038】

後側密着部 10、一对の前側密着部 11 および下側密着部 12 は、一枚の生地から形成されており、これらの境界には、縫合部が存在しない。また、防水布 13 は、下側密着部 12 の外周縁に沿うように、縫合されている。

【0039】

ショーツ 1 は、外側部材 2 の内側に、内側部材 3 を縫合（固定）することにより、作製される。具体的には、下側密着部 12 の前端を外側部材 2 における前身頃 5 と股部 7 との境界（第 1 縫合部 14 a）に縫合し、後側密着部 10 および前側密着部 11 の上端をウエスト部 4 に縫合する。

【0040】

これにより、臀部に相当する付近に縫合部 14 が存在しないことから、タイトなズボンを上から装着した際に縫合部 14 の凹凸が形成されず、ヒップラインを綺麗に見せることができる。また、前身頃 5 と股部 7 との境界に、外側部材 2 と内側部材 3 との縫合を重ね合わせたため、縫合部 14 の箇所を少なくすることができる。

【0041】

図 5 の展開図が示すように、内側部材 3 の幅方向中心における前後方向長さ L1 は、非装着時において、内側部材 3 が縫合（固定）されている箇所に対応する外側部材 2 の前後方向長さ L2 よりも短い。換言すると、後側密着部 10 および下側密着部 12 の合計前後方向長さ L1 は、後身頃 6 および股部 7 の合計前後方向長さよりも短い。例えば、L1 は、L2 の 98% 以下、好ましくは、96% 以下であり、また、例えば、90% 以上、好ましくは、93% 以上である。また、L1 と L2 との差は、例えば、5 cm 以下、好ましくは、3 cm 以下であり、また、例えば、0.5 cm 以上、好ましくは、1 cm 以上である。これにより、内側部材 3 および外側部材 2、特に下側密着部 12 および股部 7 を確実に離間させることができる。なお、図 5 は、外側部材 2 および内側部材 3 の各縫合部 14 を解いて、外側部材 2 および内側部材 3 の後側上端の位置が一致するように、これらの部材を重ね合わせた際の図を示す。

【0042】

図 4 に示すように、最下端における下側密着部 12 と股部 7 との距離距離 H は、例えば、0.5 cm 以上、好ましくは、1 cm 以上であり、また、例えば、3 cm 以下、好ましくは、2 cm 以下である。これにより、後側密着部 10 は臀部と、前側密着部 11 は下腹部幅方向両端部と、下側密着部 12 は股間と確実に密着することができる。

【0043】

そして、ショーツ 1 では、外側部材 2 において、鼠蹊部を締め付けないように足ぐり 9 が形成されている。そのため、鼠蹊部の圧迫を抑制でき、開放感などはき心地が良好である。

【0044】

10

20

30

40

50

また、内側部材 3 において、後側密着部 1 0 および一对の前側密着部 1 1 がウエスト部 4 に縫合（固定）されている。そのため、内側部材 3 は、広い面積で腰回りや上臀部に接触でき、かつ、ウエスト部 4 にその全周の半分以上の範囲で十分に固定されている。よって、装着後における後側密着部 1 0 の横ずれや臀裂への入り込みを抑制することができる。加えて、下側密着部 1 2 は、ウエスト部 4 ではなく、前身頃 5 と縫合している。そのため、装着後の運動時にショーツ 1（特に、ウエスト部 4 や前身頃 5）に加わる力が、広面積を有する前身頃 5 の伸縮によって分散や緩衝させることができ、その力が、下側密着部 1 2 に直接伝わることを防止することができる。よって、下側密着部 1 2 の動きやずれを抑制することができる。これらによって、装着時におけるショーツ 1 外への経血などの漏れを抑制することができる。

10

【 0 0 4 5 】

また、ショーツ 1 では、内側部材 3 の前後方向長さ L 1 は、それが縫合されている箇所に対応する外側部材 2 の前後方向長さよりも短い。このため、非装着時において、縫合部 1 4 を除いて、内側部材 3 が外側部材 2 と離間している。よって、装着時に、内側部材 3 が外側部材 2 に向かって十分に伸長できるため、下側密着部 1 2 における股間への密着性（フィット感）が良好になる。また、内側部材 3 と外側部材 2 までの距離 H が十分にあるため、装着時に、股間が外側部材 2 に直接圧迫することを防止でき、外側部材 2 の大幅な外形変化を抑制することができる。その結果、非装着時における外形デザインを、装着時においても維持することができる。

【 0 0 4 6 】

20

また、ショーツ 1 では、下側密着部 1 2 の幅は、股部 7 の幅よりも狭い。そのため、ウイング付きの吸収性物品を下側密着部 1 2 に装着した際に、ウイングの幅方向の飛び出しを股部 7 で隠すことができる。また、さらに後側密着部 1 0 の丈は、後身頃 6 の丈よりも短い。そのため、装着時において、内側部材 3 が後身頃 6 および股部 7 によって完全に隠すことができる。その結果、外部から視認される部材は、外側部材 2 だけとなり、生理に関係する部材（吸収性物品や内側部材）が隠れることとなる。さらには、外側部材 2 によって、ショーツ 1 の外形デザイン性の自由度を担保することができる。具体的には、従来の生理用ショーツは、経血の漏れを防ぐため、足ぐりやショーツ全体を締め付ける必要があり、全体的にぴったりとした（タイトな）外形となる。一方、本発明のショーツ 1 では、外側部材 2 によって隠されている内側部材 3 で経血などの漏れを防止できるため、外側部材 2 はそのような機能的制限がなく、自由な外形とすることができる。特に、外側部材 2 において、鼠蹊部を締め付けないように足ぐり 9 が形成されているため、ゆったりとした外形となっており、他人からは生理用ショーツを着用しているとは認識できないようにさせることができる。

30

【 0 0 4 7 】

また、ショーツ 1 では、下側密着部 1 2 の内側には、防水布 1 3 が配置されている。そのため、経血などの排泄液が吸収性物品から漏れ出た場合において防水布 1 3 で受け止めることができる。よって、下側密着部 1 2 や股部 7 などへの経血などの染み込みを抑制し、ショーツ 1 やアウターの汚れを軽減させることができる。

【 0 0 4 8 】

40

< 変形例 >

本発明は、図 1 に示す一実施形態に限定されない。例えば、図 1 に示す一実施形態では、ウエスト部 1 は、伸縮性部材のみから形成されているが、例えば、図 6 に示すように、ウエスト部 4 は、レースなどの装飾を有する丈長のウエスト部としてもよい。また、足ぐり 9 は、図 1 に示す一実施形態では、足の付け根に沿った略円形状を有するが、例えば、図 6 に示すように、ドレープ形状を有していてもよい。また、各縫合部 1 4 の位置は、図 1 に示す一実施形態の位置に限定されず、例えば、第 2 縫合部 1 4 b の位置は、図 6 に示すように、幅方向両端かつ前後方向中央よりもやや前方に位置していてもよい。

【 0 0 4 9 】

また、足ぐり 9 は、鼠蹊部および臀溝に沿うように形成されているが、例えば、図示し

50

ないが、足ぐり 9 は、鼠蹊部や臀溝よりも下方であって、大腿部上部の周囲に沿うように形成されていてもよい。すなわち、ショーツ 1 は、ボクサータイプであって、前身頃 5 および後身頃 6 の丈が、下方に長くなるように形成されていてもよい。

【0050】

また、内側部材 3 は、例えば、図示しないが、メッシュ素材から形成されていてもよい。メッシュ素材としては公知または市販のものが使用でき、具体的には、パワーネットが挙げられる。メッシュ素材の開口率は、例えば、10%以上、好ましくは、20%以上であり、また、例えば、90%以下、好ましくは、80%以下である。これにより、強度を保持したまま通気性を向上させることができるため、洗濯後の乾燥において、内側部材 3 およびその位置に対応する外側部材部分の乾燥時間を短縮させることができる。

10

【0051】

図 1 に示す一実施形態は、内側部材 3 の内側に、防水布 13 を備えているが、例えば、図示しないが、ショーツは、防水布 13 を備えていなくてもよい。このようなショーツでは、好ましくは、内側部材 3 は、排泄液のうち特に尿に対応するための部材として用い、吸収性物品として尿漏れパッドを配置する。すなわち、このようなショーツは、尿漏れ用ショーツとして好適に用いる。

【符号の説明】

【0052】

1 生理用ショーツ 2 外側部材 3 内側部材 4 ウエスト部 5 前身頃 6 後身頃 7 股部 8 ウエスト開口 9 足ぐり 10 後側密着部 11 前側密着部 12 下側密着部 13 防水布 14 縫合部 14 a 第 1 縫合部 14 b 第 2 縫合部 14 c 第 3 縫合部

20

【要約】

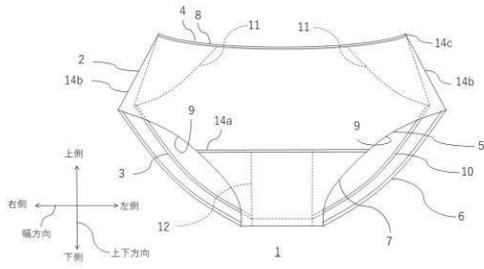
【課題】はき心地が良く、排泄液の漏れを抑制することができるショーツを提供すること。

【解決手段】生理用ショーツ 1 は、ウエスト部 4、前身頃 5、後身頃 6 および股部 7 を有する外側部材 2 と、外側部材 2 の内側に配置される内側部材 3 とを備える。外側部材 2 において、鼠蹊部を締め付けないように足ぐり 9 が形成されている。内側部材 3 は、臀部に密着可能な後側密着部 10 と、下腹部の幅方向両端部に密着可能な一対の前側密着部 11 と、股間に密着可能な下側密着部 12 とを備える。後側密着部 10 および一対の前側密着部 11 は、ウエスト部 4 に固定され、下側密着部 12 は、前身頃 5 に固定されている。

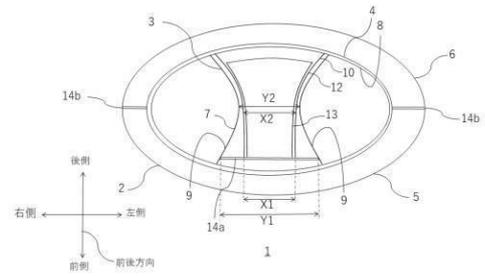
30

【選択図】図 1

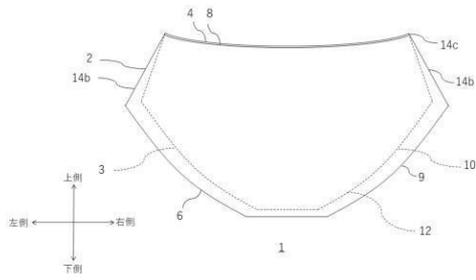
【図1】



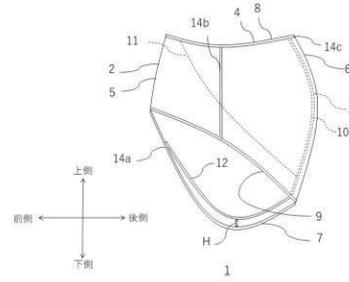
【図3】



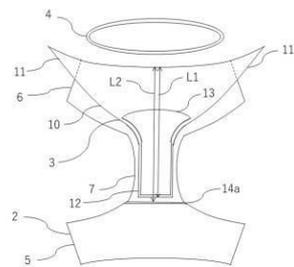
【図2】



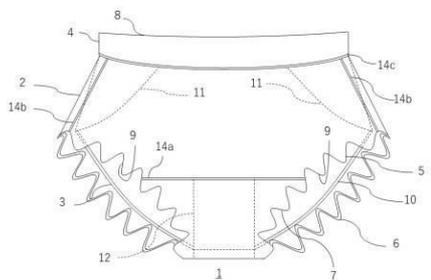
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

特許法第30条第2項適用 令和1年5月9日に下記アドレスのウェブサイトで公開 <https://faavo.jp/osaka/project/3726> 令和1年5月14日に下記アドレスのウェブサイトで公開 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000032145.html> 令和1年7月29日に下記アドレスのウェブサイトで公開 <https://sheepeace.com/i/3434001> <https://item.rakuten.co.jp/outworld/3434001/> <https://store.shopping.yahoo.co.jp/kanadume-com/3434001.html> https://www.amazon.co.jp/dp/B07W1JJZFY/ref=cm_sw_em_r_mt_dp_U_c.dgEbDDWZ5G9

早期審査対象出願

(56)参考文献 特開2018-021265(JP,A)
登録実用新案第3076162(JP,U)
特開2010-104727(JP,A)
特開2015-055022(JP,A)
特開2016-125168(JP,A)
米国特許出願公開第2015/0181947(US,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A 4 1 B	9 / 0 4
A 4 1 B	9 / 1 2
A 4 1 C	1 / 0 0